

科目名称	地域・在宅看護論Ⅰ（地域連携）	学年学期	単位数	時間数
		第2学年 前期	2	45
担当教員	宇都宮 千都	授業に関わる 実務経験	☒ 有（保健師） ☐ 無	

【1】授業概要

対象が生活する地域について理解を深める内容とする。そのため地域で生活するあらゆる成長段階にある、あらゆる健康レベルの人々に対し、行われている地域看護活動の概要を理解する。また、対象の健康課題をとらえ、健康を守るための諸施策や社会資源を理解する。さらに多様なニーズをもつ対象の生活を支えるために、制度や社会資源について理解し、保健・医療・福祉の有機的な連携をはかるための援助方法を学ぶ。

【2】学習目標

1. 地域を基盤として生活する対象を理解できる。
2. 退院支援の重要性を理解し、退院指導の方法が理解できる。
3. 関係する制度や社会資源を理解できる。
4. 社会資源の活用・連携の方法が理解できる。
5. 地域看護の役割と、目的・機能を理解できる。

【3】第1看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

- 1. 人間を理解し、倫理的な態度で看護を実践する力
- 2. あらゆる対象に応じた看護を実践する力
- 3. 地域の特性を看護に生かす力
- 4. 保健・医療・福祉システムにおける連携・協働できる力
- 5. 主体的に学び続ける力

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
1	地域・在宅看護論Ⅰ（地域連携）で学ぶ内容・地域で生活する対象の健康課題	講義
2	地域に暮らす人々の理解	演習
3	退院支援・退院調整のプロセス	講義
4	退院後の指導①	講義
5	（ケースA：胃瘻を造設、膀胱留置カテーテルを挿入して退院するケース）	
6	退院後の指導②（ケースAでの在宅での効果的な指導方法）	演習
7	病院と地域との連携（ケースB：COPDで退院するケース）	講義
8	病院との連携①（在宅酸素療法：HOT）【外部講師】	講義・演習
9	病院との連携②（NPPV）【外部講師】	講義・演習
10	社会資源とは 社会資源の活用 多職種との連携	講義
11	社会資源 Map の作成	演習
12	居宅介護支援事業所のケアマネージャー（介護支援専門員）の役割	講義
13	地区の特性を知る	講義・演習
14		
15		
16	地域看護活動の場所と方法① 地域包括支援センター【外部講師】	講義
17	地域看護活動の場所と方法① 地域包括支援センター	講義
18	地域看護活動の場所と方法② 保健所・市町村保健センター	講義
19	地域看護活動の場所と方法② 保健所・市町村保健センター	講義
20	地域看護活動の場所と方法③ 通所施設・福祉施設	講義
21	地域看護活動の場所と方法④ 学校・事業所	講義
22	まとめ	
23	試験	

【5】評価方法

筆記試験（80点）、レポート（20点）

【6】教科書

河原 加代子：系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論 1 地域・在宅看護の基盤（第6版） 医学書院 2023（電子版）

河原 加代子：系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論 2 地域・在宅看護の実践（第6版） 医学書院 2023

(電子版)

【7】 参考書

宇都宮宏子・三輪恭子編:これからの退院支援・退院調整 日本看護協会出版会

松山市保健福祉発行:介護保険(パンフレット)

財団法人 厚生統計協会編:国民衛生の動向

その他は随時授業で提示する。

【8】 受講生へのメッセージ

全体を通して、他の科目(基礎看護技術・成人看護学・老年看護学・社会福祉・公衆衛生・関係法規等)で学ぶ内容と関連付けて学習を深めてください。